

## 2 すすぎ

### ●浸漬洗浄・超音波洗浄の後はすすぎを十分に行ってください。

浸漬洗浄・超音波洗浄の後は、すすぎを十分に行ってください。洗浄液から引き上げた器具には、洗浄液と溶解した汚れが付着した状態です。

そのまま乾燥してしまうと汚れの固着にもつながり、関節のある器具は隙間に汚れが残留してしまいます。

器具のすすぎには不純物を完全に除去した精製水や濾過水が理想的です。水道水は飲料水にするため、主に塩素系の消毒液を含有しています。

水道水を洗浄に用いた場合、水の中に含有される塩素により金属を腐食させる恐れがあります。またミネラルなど微量の不純物が付着して残り、シミやサビの原因となります。

更に、老朽化した水道管を通ってきた水に含まれるサビの粒子も金属に付着するとサビや腐食の原因になります。

また、エマルジョンタイプの防錆潤滑剤（通称ミルク処理）をご使用の際には、濃度や攪拌・浸漬時間を取扱説明書に従ってお使い下さい。濃度等を間違えると効果が十分でない場合があります。

## 3 乾燥

### ●洗浄・すすぎ後は、速やかかつ完全に乾燥させて下さい。

洗浄、すすぎ後は、速やかかつ完全に乾燥させて下さい。

水分が残っているとサビ、シミ、ヤケの原因や滅菌効果を低下させてしまいます。

器具の水分を拭き取る際は、キズをつけないように糸屑のでないやわらかい布などで、こすらずに水分を除去することをおすすめします。

また、鉗子等のジョイント部はエアフローなどで水分を飛ばすことをおすすめします。

